



実は私たちも以前から気になっていました。ごくごく普通の白い車庫の隣に、「えっ！？まさかこんなところに喫茶店??」と思わせるようなコーヒーカップの絵。今回はその持ち主でいらっしゃる若山賢一さんにお話を伺いました。

賢一さんに招かれ手作りの扉を開けて入ると、薪ストーブにソファ、テレビ、サイフォンとなんとも贅沢なコーヒーの香り・・・そして壁は薪でびっちり！外観とのギャップに驚愕。「そどさある薪取りに行くな億劫で。。。部屋の中さ積んでおぐなもみくさいもんでよ(;^ω^)」と、それから薪と壁を同化させようと、壁を薪で埋め尽くすアイデアを思いついたのだそう。コーヒーについてのお話はもちろん、前職を活かしてのDIYの話聞きながら、スペシャルブレンドコーヒーをいただきました。朝5:30起床後、ここでコーヒーを飲みながら一日の予定を組むのが日課だとか。時々煙突から煙が出ているのを見て、「あ、若山さんいやったな～」とご近所さんやお友達が顔を出してくださり、会話を楽しむのだそうです。

また、ブレンドした豆を試作品として知り合いのお店に持っていき、お客さんに試飲していただくこともあるそうで、さらにその「若山ブレンド」を気に入った方が実際に訪れてきてくれたり。賢一さんはおっしゃいます。「年齢と共に人はどんどん思考や行動範囲が狭まっていく。何か一つ趣味があることでそこから人脈が広がり、自分の興味や知識も同じように広がっていく。これがいいなよ～～！」趣味の一つである「コーヒー」を通じてたくさんの方々との出会いと繋がり。お話ししてくださる表情から、充実感が伝わってきました。居心地が良すぎてすっかり長居してしまいました。一人になりたい時、こっそりお借りしようかな～(#^.^#) 若山さん、スペシャルコーヒーと素敵なお話をありがとうございました。



壁一面の薪とリース



高級カップでいただきました



お道具セット



外にはびっちりの薪

～年度末のごあいさつ～

今年度も、あと1ヶ月となりました。この1年間、公民館活動等に地域の皆様のご理解ご協力をいただきまして、コロナ感染防止に務めながら行われて来ましたことに感謝申し上げます。翌年度もコロナ対策が必要となるかどうかはわかりませんが、公民館活動を開催していきたいと思っております。1年間の公民館行事の活動等に対し、参画していただきました事に感謝申し上げ、新年度におきましても相変わらずのご理解とご協力をお願いし、1年間の反省とさせていただきます。ありがとう御座いました。

準備までのお手伝いありがとう・・・雪まつり中止 でも、もったいないから事務局で頑張ってみました。



BTS: after



サークルの皆さんや移住者の
由香さんにもお手伝い頂きました。



シルエットの出来栄をご覧ください

